

## 令和3年度 KOBE学生地域貢献スクラム 上期 プロジェクト一覧

令和3年6月4日時点

No.	プロジェクト名	プロジェクト団体名	活動内容	活動期間	活動人数 (想定)
1	六甲山系グリーンベルト整備事業の一環である「森の世話人」とのスクラム2021	ほくら〜ととや森の世話人倶楽部	「ほくら〜ととや森の世話人倶楽部」は東灘区岡本近辺の背山で活動する森の世話人13団体の集合体で、倶楽部目標として「岡本（ほくら〜ととや）桜回廊づくりプロジェクト」を掲げて活動中。	7月上旬～1月下旬	3～10名
2	「六甲山系グリーンベルト整備事業」の「森の世話人」活動	フォレスター松寿	六甲砂防事務所が推進する「六甲山系グリーンベルト整備事業」の「森の世話人」として防災に役立ちかつ市民の憩いの場ともなる「松寿の森」づくりを目指している。	9月上旬～3月上旬	5～10名
3	放課後の子どもの居場所「こどもリビング」でスタッフをしませんか	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸	地域共生拠点・あすパークで開催する放課後の子どもの居場所「こどもリビング」で、子どもたちの宿題サポートや、毎回テーマを決めて行うディスカッションのサポートなど、子どもたちが充実した時間を過ごすためのサポートを担っていただく。	7月上旬～9月上旬	1～3名
4	多世代交流のまちなか食堂	東灘こどもカフェ	こども・学生・障害者・子育て世代・シニアなどの多世代が交流して、まちなか（通称こども）食堂を運営し、学びと思いきりの遊びと食の交流を図る。	7月上旬～8月下旬	6名
5	会下山プレーパーク	会下山プレーパークの会	プレーパークでは子どもたちがさまざまなことを経験する機会を大切にしている。そのときに、たとえ少し危ないことでも子どもたちが思い切って挑戦すべき「リスク」と、子ども目線からは気づきにくい危険である「ハザード」を区別して、プレーリーダーはハザードを除きつつ、リスクへの挑戦は見守っていくという役目がある。まずは自分が思い切り遊びを楽しむことから始まるので、子どもたちの名前を覚えて一人ひとりをよく見ながら、一緒に思い切り遊び込んでいただきたい。	7月下旬～3月下旬	3～5名
6	神戸こども宅食プロジェクト	BE KOBEミライPROJECT	神戸こども宅食プロジェクトとは、様々な事情や新型コロナウイルスにより影響を受け困窮する神戸市内のひとり親家庭を対象に一世帯あたり約10キロの食品パックを自宅まで配送し食を通じた支援を行っている。 1. 神戸こども宅食プロジェクトについてのワークショップ 2. おとどけするご家庭へのメッセージ作成 3. 食品パックの梱包作業など	8月下旬～2月下旬	10名
7	兵庫駅南公園プレーパーク	兵庫駅南公園こどもフェスタ実行委員会	プレーパークでは子どもたちがさまざまなことを経験する機会を大切にしている。そのときに、たとえ少し危ないことでも子どもたちが思い切って挑戦すべき「リスク」と、子ども目線からは気づきにくい危険である「ハザード」を区別して、プレーリーダーはハザードを除きつつ、リスクへの挑戦は見守っていくという役目がある。まずは自分が思い切り遊びを楽しむことから始まるので、子どもたちの名前を覚えて一人ひとりをよく見ながら、一緒に思い切り遊び込んでいただきたい。	7月上旬～11月下旬	3～5名
8	やってみひん?! 農作業	特定非営利活動法人オーガニック・ライフ・コラボレーション	初夏から晩秋にかけて、苗の定植や保全、収穫、また水やり、草刈り等のお手伝い。また田植えや稲刈り、草引き等のサポートを行う中で、農業の実態（厳しさ・面白さ）を学んでいただく。	未定	5～10名
9	やどかり給付型奨学金プロジェクト ※留学生特別枠 (留学生でなくても参加可能)	NPO法人Oneself	「やどかり給付型奨学金」の初年度の取り組みとして、クラウドファンディングとチャリティーコンサートで奨学金の資金を募る。 ①奨学金事務局のサポート ②留学生版トライやるウィークの引率サポート ③クラウドファンディングの企画や運営 ④チャリティーコンサートの運営 上記①～④の中で興味のあるものだけでも可能。全体を通しての参加も可能。	11月	2～7名
10	休耕田を再利用した有機農業の推進	NPO法人ピースアンドネイチャー	地域の方々のご協力のもと、メンバーと共に放置竹林問題によって荒れた休耕田を耕し、田んぼとして再利用している。また整備した竹は竹炭を製造し農業資材として活用し有機農業を実施している。	7月上旬～9月上旬	5名
11	八多神社里山プロジェクト	特定非営利活動法人北神戸田園ボランティアネット	北区八多町の八多神社は、田園風景と新興住宅地の間に位置する里山林である。昨年度、地元の中自治会が中心となり、神戸市の里山支援事業を活用して、田畑沿いの大径木を伐採したが、これを継続し、夏緑林が中心のかつての里山の姿を取り戻すために、危険木や常緑樹を中心に伐採整備を継続する。	12月中旬～2月中旬	5～10名
12	地域みんなの車椅子ルートマップ 普及活動	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸	バリアフリーマップは神戸市140駅全駅に展開しているが、十分に周知されているとは言えないため、さらなる普及を目指して地域のお店・企業・学校・住民に対して啓発活動を行う。 学生の皆さんに行っていただく活動は以下の通り。 ①車椅子利用者の現状を知る/伝える ②車いすルートマップ啓発ポスターの配布 ③啓発イベントの開催	7月下旬～8月中旬	2～10名
13	小学生に挑戦する機会を！イベント運営スタッフ募集	一般社団法人イドミイ	4種類のイベントのサポートを担っていただく。 ①「神戸小学生フェスティバル」 ②「神戸クリスマス運動会」 ③「こどもによる、みんなのための映画館」 ④「アウトドア体験」	7月中旬～2月上旬	10名
14	居場所活動を体験してみよう～高齢者向けスマホ講師とイベント運営～	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸	1) 高齢者向けスマホ講座の講師。マンツーマンで寄り添って教えていただく。 2) 居場所サミット当日のイベント運営、事前準備、事後のアンケート集計等。	8月上旬～9月中旬	1～2名
15	神戸の森林(もり)を守り育てる(太子の森)	NPO法人ひょうご森の倶楽部	太子の森が市民の憩いの森になるように、また市民を災害から守るような豊かな森に育つことを願い、ボランティア活動として樹木の伐採、草・ササ刈りなどの作業を主体に活動している。	7月中旬～3月中旬	3名
16	神戸の森林(もり)を守り育てる(布引・世継山)	NPO法人ひょうご森の倶楽部	布引・世継山が市民の憩いの森になるように、また市民を災害から守るような豊かな森に育つことを願い、ボランティア活動として樹木の伐採、草・ササ刈りなどの作業を主体に活動している。	7月下旬～2月下旬	3名
17	地域交流活動拠点「HATA+BE+」拠点整備	株式会社 素木	神戸市西区押部谷町和田に農村地域と近隣都市の方の交流できる拠点づくりをしている。竹林・森林の伐採整備、畑づくり、民家の改修、DIY、体験イベントなど、活動をサポートして下さる方を募集。	7月上旬～12月上旬	5名
18	収穫の秋! 連携農家の農作業を手伝ってください!!	NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト	普段、収穫イベントなどで連携している伊川谷の農園で稲刈り、芋ほり、その他農作物や田畑の手入れなどの農作業を経験することで、農業の実態(厳しさ・面白さ)を学んでいただく。	9月中旬～2月中旬	3名
19	神戸市を元気にする地域ポイントを創ろう	NTT西日本 兵庫支店	神戸市の地域経済の活性化・コミュニティの再構築を目指した地域ポイント構想について、デザインシンキングワークショップやフィールドリサーチを通して学生自らアイデア創出を行う。またそれらの実現に向けた実証実験に参画し、プロモーションやアンケートリサーチを検討・実施する。	7月中旬～2月中旬	5～10名
20	ヌフ松森医院(里づくり拠点施設)みらいをつくる	淡河松森医院跡みらい会議	「人と自然の保全地域」にあった38年間空き家となっていた、450坪の大きな医院跡を再生し利用を行う。地域事業としてシェアハウス、シェアオフィス、シェアキッチン、センターキッチン、自前のファーム、薩摩芋スイーツ開発、シェフinレジデンス、など多様な地域活性化事業に順次に取り組んでいく。	7月上旬～9月下旬	2～4名
21	諏訪山公園ニューノーマルプロジェクト	諏訪山公園ニューノーマルプロジェクト	諏訪山公園「子供の園」の設備や利用状況、環境などの現状リサーチを行い、清掃活動やイベントを行う。同時に、歴史的な公園のニューノーマルを模索する。	7月中旬～2月中旬	5～15名
22	神戸学生スクラム広報プロジェクト	広報プロジェクト推進事務局(神戸新聞事業社)	神戸学生地域貢献スクラムの活動を内外に発信し、地域のお困りごとの発掘や、より多くの学生の参加を促すために広報活動を行う。活動は各プロジェクトに訪問してもらい、活動の意義や課題、学生の感想をまとめて、神戸新聞やスクラムのSNS、その他協力媒体にて発信していく。	その他の活動日に合わせて、現地に行っている。基本は土日	1回10名を3チーム程度に編成